

提言
ト
225
と捉え、医
スペシャ
う。
日本大学松戸歯学部
歯学部歯科を専攻



ラジオ成田
「ピースリー・ミュージック」
放送開始100回記念放送3月2日
布施通信員 放送収録に訪問 (1面から続き)

佐倉図書館等新町活性化
複合施設「夢咲くら館」
(愛称) 3月4日開館
佐倉市



いた「二分一間佐倉絵図」
が描かれていて佐倉の過
去と現在に思いを馳せる
ことができる。
地下1階の「図書館・子
育て交流フロア」では、開
架約9万冊、閉架約7万
冊がある。一般書コーナー
の閲覧席は152席で、
大きな窓から自然光を取
り入れてゆったりと過ご
すことが出来る心地いい
空間だ。
一番の特色は子育て世
代に安心して利用しても
らえるよう無料の託児室
や子育て相談室、赤ちゃん
休憩室が完備されたこ
と。おむつ換え、授乳など
が利用しやすいなってい
る点だ。
絵本や児童書も充実。
エレベーターも非接触型
で安心だ。また県立佐倉

東高校の協力を得て佐倉
の四季を描いた友禅染が
展示されており、活動発
表の場としても利用が期
待される。
2階には「佐倉を学ぶ
フロア」があり、古文書な
ど貴重な資料の閲覧が可
能。同市に関する書物が
揃っていて、一見の価値が
ある。
今後は佐倉の秋祭り、
時代まつりなどのイベン
トの拠点としても大きな役
割を果たすことだろう。
▽開館時間 9時～20時。
月曜・第1火曜日休館。駐
車場55台。施設利用者は
3時間無料。
▼佐倉市新町40番1。
▽問 ☎043・485・0
106。

矢路川結子の
ココカラエガオ食堂
「ココロ」と「カラダ」が笑顔になる

Yajikko KITCHEN

ココカラエガオ研究所

りんごとバナナ&ミックスベリーの
甘酒コンポート
今回は春のイメージのデザートレシピです。
お祝いの集まりなどが増えるこの時期、白砂糖を使
用せず、healthy で喜ばれる、
簡単に出来るデザートです。

材料	作り方
○リンゴ…………… 1個	1. リンゴとバナナを食べやすい大きさに切る。
○バナナ…………… 1本	2. フライパンに1の材料と冷凍ミックスベ リーと白ワインをいれ中火にかける。
○冷凍ミックスベリ… 100g	3. 少し煮詰まったら甘糍とはちみつを入れ更 に煮詰める。
○甘糍(甘酒)………… 100g	4. 全体がトロツとしたら完成。
○はちみつ…………… 大さじ2	
○白ワイン…………… 大さじ1	

番組収録には弊紙記者
も参加。音楽の力や魅力
、食文化と音楽の接点、生
演奏をリスナーと共有す
ること、ラジオという文化
などについて質問した。(こ
れらは3月9日の101
回目に放送予定。
収録後には「人生の中
でのラジオとのかかわり
について聞いた。
「父がラジオ番組の制
作者だった。私はそれを
ずっと見ていたので、今こ
うして番組を持っている
ので、父は喜んでいて、
は「植草さん。お父様
の番組作りの蓄積を受け
継ぐことが出来たのはよ
かったですね」と松野さ
んの優しさ溢れる言葉が
続く。
「ずっと前から、エス
トニア、ポーランド、ハンガ
リー、ウクライナ、中国な
ど様々な地域でラジオ番
組に出演していて、その時
の反響の大きさ、用意さ
れた質問の真剣さにひる

みそうになつたこともあ
る。なかでもターニングポ
イントになったのは昔の北
京放送に出演した時で、
歴史のうねりを感じた」
と松野さん。
「音楽との距離につい
ての質問に、植草さんは演
奏家や指導者としても活
躍するが、リラックスタイ
ムには音楽を聞かないそ
う。「レストランでBGM
が流れると、自分が弾いて
いる姿が浮かんできてし
まう」と笑う。「オーケス
トラにいた時、年間12
0本のコンサートをごな
す世界に何年もいた」と
当時の多忙極まる日々を
振り返る。
「この番組を持ち、いろ
いろなことを知り、音楽と
の向き合い方が大分変わ
ってきた」と、ラジオの音
楽番組が植草さんにとつ
て次の活動の新しいステッ
プになっている。
松野さんは最後に次
のように語ってくれた。

「自分の歴史の中で、音楽
と関係のない、茶の湯の世
界に居たことがある。静か
な空間で人と向き合うの
は子どもころからの生
活の一部それが貴重であ
ると気づくのは時間が
かかった。今も茶席に招か
れるが、そういう時間があ
ると次に自分が演奏する
とき、新鮮な気持ちにな
れる」。
松野さんは小さなスタ
ジオを静謐な茶室に見立
て、客人をもてなすように
、周到な準備と設えてマイ
クに向かい、視聴者の心
にやさしく語り掛けている
のだと思った。コロナ禍で
始まったこのラジオ番組
がリスナーの心の中へ静
かに染み入っていくのがよ
くわかる。
●ラジオ成田「ピースリ
ーミュージック」放送
毎週木曜13時～14時と21
時～22時(再放送)。

「空」の襖絵の部屋で、襖絵を描いた荒井恵子さん(左)と、住職の赤星隆誠さん

茂春山法成寺襖絵公開
「空」「宙」荒井恵子作
船橋市民ギャラリー主催
船橋市西船橋にある曹
洞禅宗の寺、茂春山法成
寺の襖絵鑑賞会が先月4
日、開催された。参加者は
36人で、主催は船橋市民
ギャラリー。
鑑賞の前に、襖絵を描
いた船橋市在住、抽象水
墨画家の荒井恵子さんと
住職の赤星隆誠さんの対
談が鏡松の描かれた本堂
脇で行われ、その後、「空」
と「宙」と題した襖絵十二
面のある部屋へ移動。
「お寺は仏事だけをす
る場所ではなく、地域の子
どもたちをはじめ多くの
人々が集う場所。作品を
披露する場所としてちょ
うどよい。市民ギャラリー
の公開時に見た時と今日
お寺で見た時は印象が変
わるのではないか。それは
私たちの今の心の状態そ
のもの。作品と向き合う
と、それが現れてくる。見
るたびに違ってくる」と赤
星さん。

「宙」の襖絵の部屋

墨画家の荒井恵子さんと
住職の赤星隆誠さんの対
談が鏡松の描かれた本堂
脇で行われ、その後、「空」
と「宙」と題した襖絵十二
面のある部屋へ移動。
「お寺は仏事だけをす
る場所ではなく、地域の子
どもたちをはじめ多くの
人々が集う場所。作品を
披露する場所としてちょ
うどよい。市民ギャラリー
の公開時に見た時と今日
お寺で見た時は印象が変
わるのではないか。それは
私たちの今の心の状態そ
のもの。作品と向き合う
と、それが現れてくる。見
るたびに違ってくる」と赤
星さん。
「空」の部屋には時空が
現在から未来へ繋がって
行く様子を、宙の部屋で
は精神世界を描いた。和
紙の白も墨の黒も、奥まで
手が入っていくような温
かい感じがするはず」と荒
井さん。
その後、参加者は自由
に襖絵を観覧。「空」の作品
は抽象的だが、花や根を
思う。白い部分が命の根
源に繋がっているようだ」
と参加者の男性。
この鑑賞会を企画した
ギャラリーアドバイザー
の山本雅美さんは「ずっと
あたためていた企画。襖
絵は、はじめは市民ギヤ
ラリーで見学会を開いたが、
次はお寺という空間で鑑
賞していただこうと考え
実現した。定員に対して
それを超す多くの方々か
ら参加申し込みがあった
と話す。同寺の襖絵は、特
別拝観日以外は非公開。

応募方法
希望商品名・住所・氏名・電話番号を明記「東葛
毎日新聞社」E: admissions@bunyan.ne.jp (4月のプレ
ゼント) から応募。または fureai@bunyan.ne.jp ま
でメール応募も可能。◆応募締切03月08日必着。

成田山書道美術館
NARITASAN MUSEUM OF CALLIGRAPHY
尾崎邑鵬展
(開催中～4月16日)
招待券3組
6名様
成田市成田640
▷問 ☎0476・24・0774
<https://www.naritashodo.jp/>

キリン 午後の紅茶
おいしい無糖 ミルクティー
500mlペットボトル
3/7 新発売。「午後の紅茶」ブランド初の
無糖ミルクティー。
豊かな味わいの本格無糖紅茶に、適量の
ミルクを加え、スッキリとした後味を楽し
めます。
24本入り
3名様
▽商品に関する問い合わせ
キリンビバレッジ株式会社 お客様相談室
(フリーダイヤル) 0120・595955
<https://www.kirin.co.jp/softdrink/>

ふれあいプレゼント

専門講師が同行する学びのカルチャーツアー「風来人」
日帰り
戦国廃城を歩く
源頼朝ゆかりの
史跡と城跡を訪ねる
同行講師 大竹正芳氏
(日本城郭史学会委員・日本画家)

昨年長編ドラマでも描かれた鎌倉幕府
を開いた源頼朝生涯最大のピンチ、石橋
山合戦に関わる史跡とそれに関連した城
跡を訪ねます。
出発日(日帰り) 旅行代金(おひとり・税込)
3月19日(日) 11,200円 旅行番号
F081K-53
◆コース/JR真鶴駅10時発…〈徒歩〉…荒井
城(足柄下郡真鶴町、比高20m・歩程約40分
▶土肥実平の祖父とされる荒井実継の城跡と
伝わる)…JR湯河原駅…土肥実平館跡(足柄
下郡湯河原町、説明板と銅像・歩程約10分)
▶源頼朝を房総に逃がした土肥実平の館伝承
地)―〈タクシー利用〉―しとどの窟(歩程約
20分)▶石橋山合戦に敗れた源頼朝が身を隠
した洞穴)…土肥城(比高180m・歩程約1時間)
▶土肥氏が築城したという、後に小田原北条氏に
利用された)…城山ハイキングコース(下り、
歩程約2時間、立石、兜石、浅間神社、城順寺
を通る)…JR湯河原駅16時30分頃解散
◆食事:昼食付き ◆最少催行人員:15名
◆添乗員同行
※現地の諸事情により行程が変更になる場合もございます。※城跡までは狭い道が多く、大きな道
より数分歩く箇所がございます。また、山城では山道を登ることもございます。予めご了承ください。
☎03-6265-6966 ◆申し込み/毎日新聞旅行「ふれあい」係
(10時～16時、土日祝休み) 後援・東葛毎日新聞社

廃城の石垣(イメージ)